インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 40 週（ 2026/9/28～10/4 ）感染症発生動向調査速報値（ 2026/10/7 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **458** 人、定点医療機関当たり **9.96** 人

※急性呼吸器感染症定点（旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科27定点、内科19定点）

図1. 患者報告数の推移（富山県）

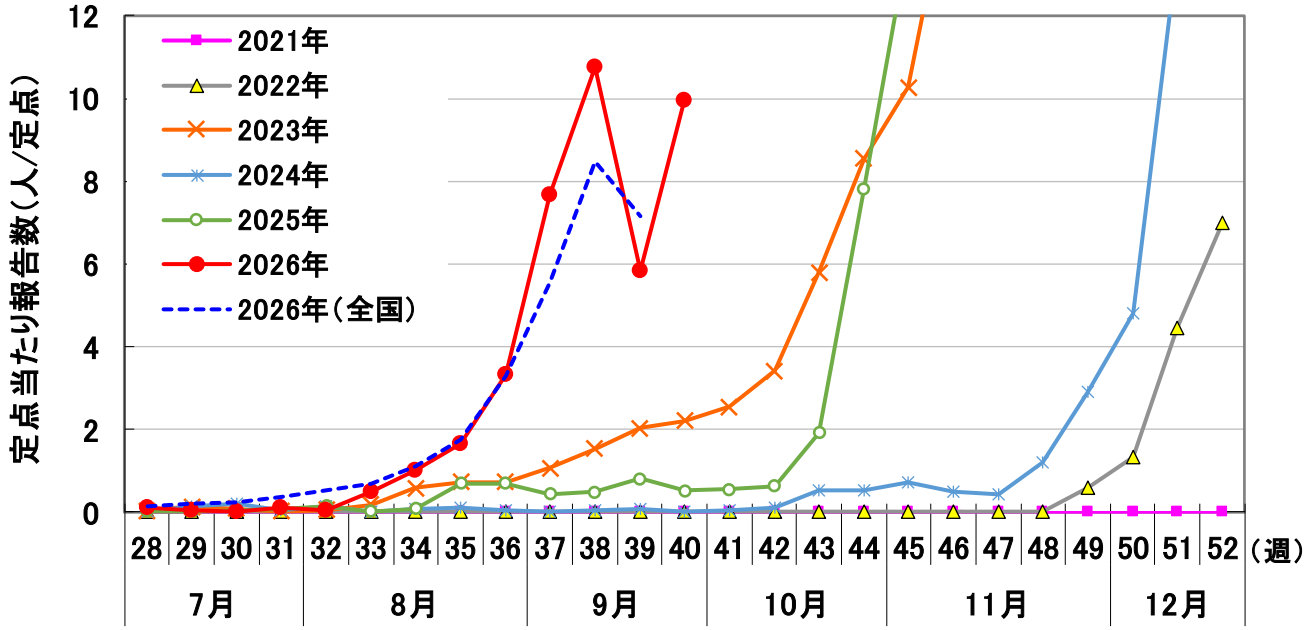
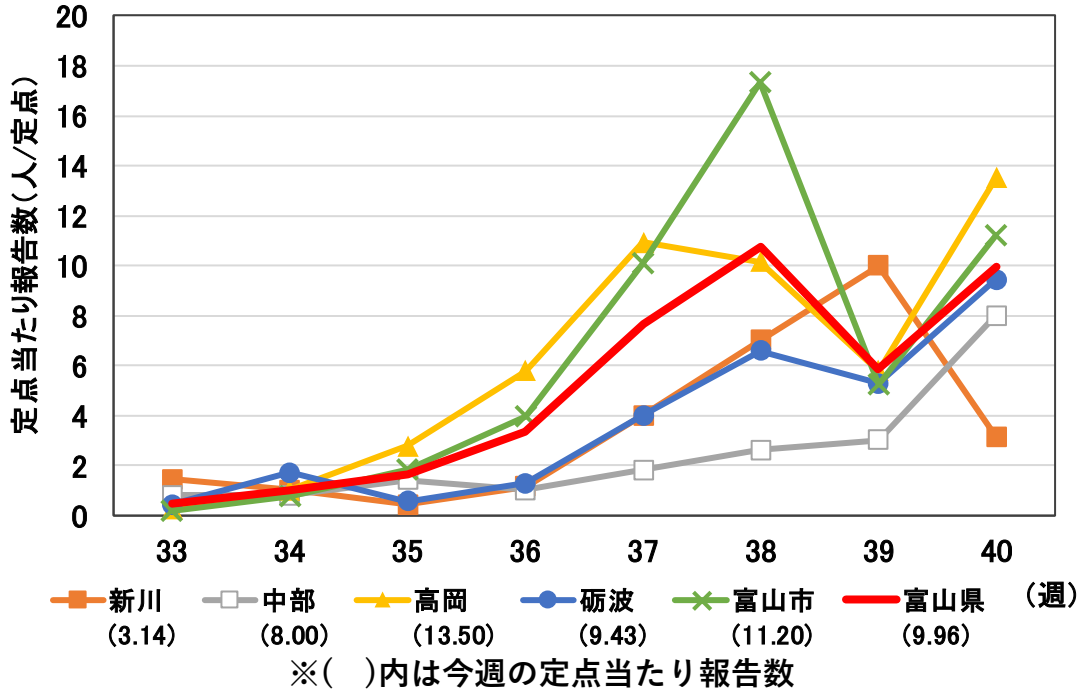


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



※（ ）内は今週の定点当たり報告数

- 富山県の患者報告数は今週9.96人/定点となり、先週（5.85）から増加し、連休前の第38週（10.77）の報告数に近づいた。（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、新川管内で減少した一方、それ以外の管内で先週から増加した。高岡、富山市管内では、注意報レベルの基準である10.0人/定点を超えている（図2）。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

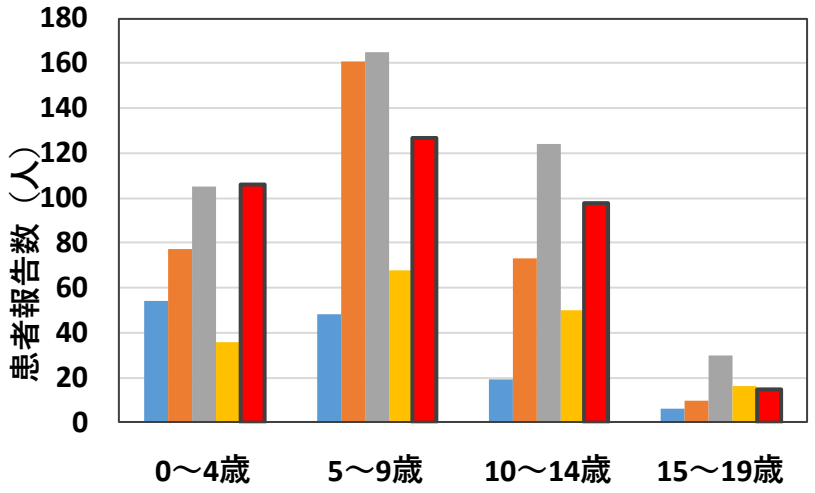
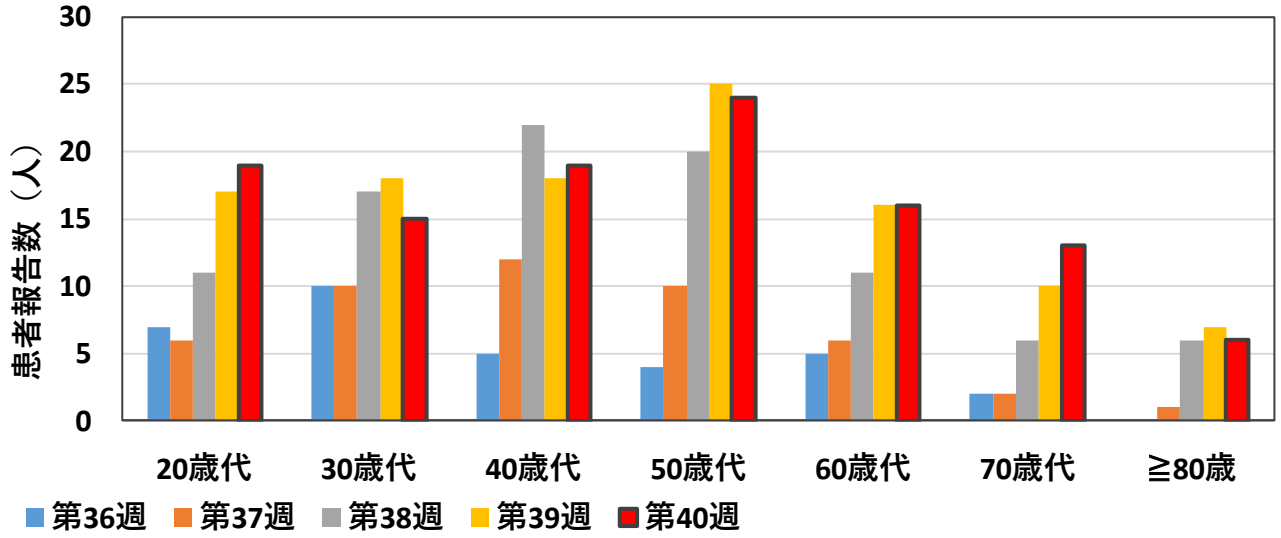


図3-2. ≧20歳



- 報告患者は0～14歳、20歳代～70歳代に幅広く分布した。

※定点医療機関は小児科が多い（小児科：27定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況（第39週）

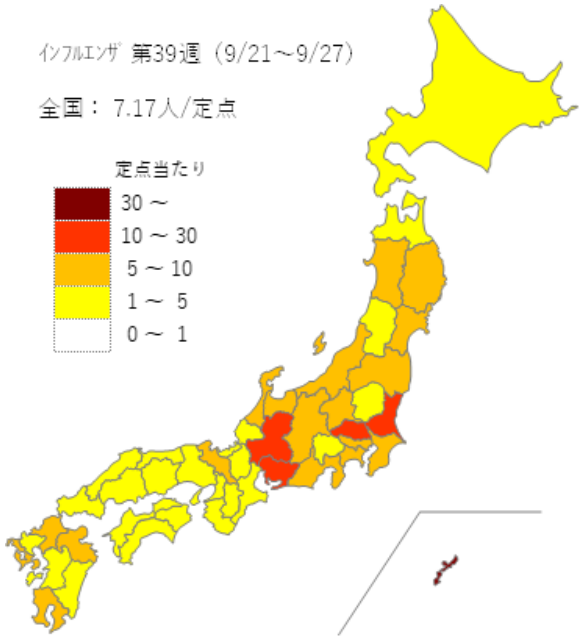


図5. インフルエンザ入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）

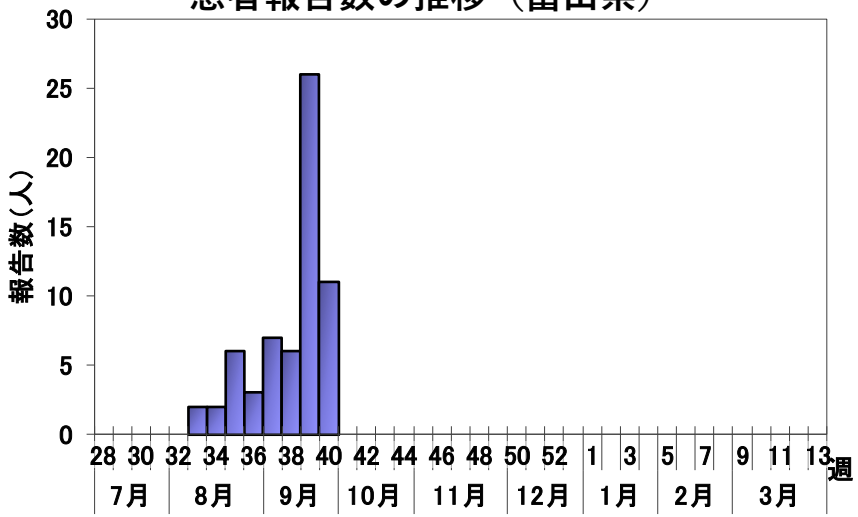
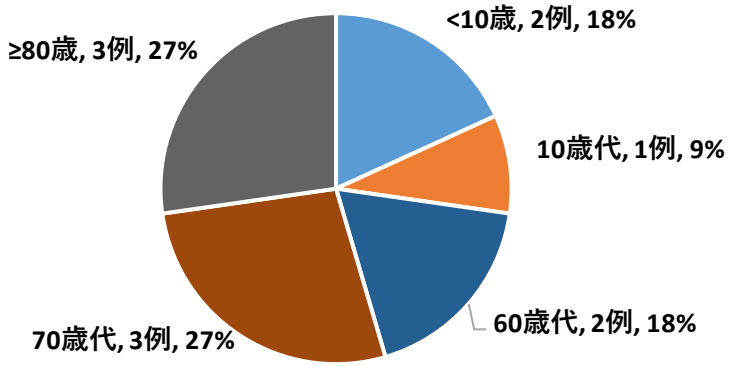


図6. インフルエンザ入院サーベイランス
年代分布（第40週、11例）



- 全国では第39週に7.17人/定点となり、第38週（8.47）から減少した。
  都道府県別にみると、5県で注意報レベルの基準である10.0人/定点を超えている（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週11例の報告があり、先週（26例）から減少した（図5）。
- 入院患者の年代は、10歳未満、60歳代が各2例、10歳代が1例、70歳代、80歳以上が各3例であった（図6）。
- 県内の患者報告数は先週一旦減少したが、今週は連休前のレベル近くまで戻った。特に15歳未満の患者報告が増加し、学級閉鎖等の報告もあることから（富山県インフルエンザ関連情報）、学校等での感染拡大や子どもから成人への感染が懸念される。今後の発生動向を注視する必要がある。